

整備推進の要望書を提出しました



去る2015年7月9日、都市計画道路・塩屋多井畑線整備に関する要望書を神戸市に提出しました。

これは2013年12月に提出した、神戸市の計画変更(修正)素案に対する地域からの「回答書」に記載した、<下代～大谷交差点>区間については、できるだけ早期の整備を進めること、又<大谷交差点～高架下>区間については、引き続き塩谷地区の全居住者・事業者・権利者との協議のもと「新しい発想で事業を進めること」を改めて6月28日の総会で審議、賛成多数により可決した結果、神戸市住宅都市局・岩橋計画部長に手渡ししたものです。岩橋部長より、これまで10年間キャッチボールをやりながら進めてきていることなので、内容については十分理解している。今後も意見交換・情報交換しながら進めていきたい等の回答をいただきました。

塩屋らしい風景の継承・・・しおや景観基準

独自の景観ルールを策定をすすめています

「塩屋らしい景観」を受け継いでいくため、独自のルール(しおや景観基準)づくりを検討しています。これまで地区住民が撮りためてきた1,000枚以上におよぶ塩屋の風景をもとに、「塩屋らしさとは?」「残していくべき風景とは?」といった点について、みんなの思いを語り合っています。「海に向けて視界が広がっている」「水平線とまちが呼応している」「波の音が聞こえる」「海と山がまちを包みこんでいる」「さまざまな自然がまちなかに溶け込んでいる」「ボリューム感が調和している」「建物どうしが肩を寄せ合っている」・・・などなど、いろんなフレーズが飛び出しています。

これまで定例会に参加いただいていた区役所や神戸市まち再生推進課に加え、8月からは「まちのデザイン課」の方も一緒になって検討をはじめました。まずは「良くないものを規制するためのルール」ではなく、「良いところを地域全体で共有するルール」について、今年度内に案をまとめていきたいと考えています。

「塩屋見聞録 1955」の作成がすすんでいます

塩屋にまつわるあれやこれやについて、長く塩屋に在住されている方々からお話を伺うトークイベント「徹公の部屋」は、平成26年1月に開催した「いかなごき煮事始め」からスタートしました。それから1～2月に一度のペースで開催し、平成27年6月には第15回を開催するに至りました。当時の状況をさらに詳しく知ろうと、昨年塩屋マチアルキを2回開催し、お話を伺った場面を確認しながら街歩きを行いました。特に1回目は新聞にも掲載されたことから、150名を超える参加者が集まりました。塩屋のことを何となく知っているがもう少し詳しく知りたいという方が本当に多かったのだと思います。

語り部である長老方の話からは、50～60年前の街の風景や自然環境そして地域の生活感など、驚くような内容が次々に飛び出し時間が足りないくらい。会場には多くの同窓生も集まり昔話に花が咲きます。話し、笑い、当時を想うことが、地域の健康を支える活動



の一つになっているようです。

これらの活動やお話をもとにして、1950年代の塩屋の地図を作成し、当時の街の風景やエピソードをありありと甦らせることで塩屋をより深く知ってもらおうと考えています。地図を通して塩屋のもつ地域資産について多くの人が気づき、この街の魅力あふれる歴史に触れ、住んでいる地域について誇りを感じて頂けることを願っています。

9月以降も同様に活動を継続し、年度末には「塩屋見聞録 1955」も完成させる予定です。「徹公の部屋」の様子は次の世代に継承できるように、録画もしておりますのでイベントなどで公開できればと思っています。毎月行事予定を発刊していますので、日程ご確認のうえ多数の参加をお待ちしております。

日ごろから使える防災マップをめざして

塩屋ふれあいのまちづくり協議会とともに、防災・減災マップづくりをすすめています。地域の「良さ」と「悪さ」を整理し、塩屋らしさを探りながら、塩屋ならではのマップをめざしています。危険個所や避難ルートだけではなく、景観、山や川・海といった自然、名所などを掲載し、まちの特徴を表現します。



「備えあれば憂いなし」と言いますが、災害時だけでなく、普段から常に見てもらいたい塩屋のことをよく知ってもらえるようなマップにするために、推進会やまち縁カフェなどで、じっくりと丹念に話し合いを重ねています。

また、下記の日程で現地確認まちあるきを行います。今回は塩屋町2丁目周辺を散策します。ぜひ、ご参加ください。

まちあるき開催のお知らせ
9/26(土) 10:00～
JR 塩屋駅北側集合

塩屋北地区との共同事業・・・塩屋コミュニティバスを走らせる会

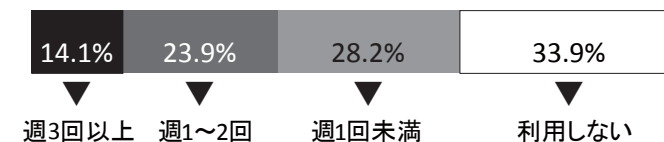
アンケート集計結果が出ました(詳細は後日、別途配布予定)

塩屋まちづくり推進会は、塩屋地区連絡協議会、塩屋婦人会、塩屋ふれあいのまちづくり協議会、塩屋北ふれあいのまちづくり協議会とともに、「塩屋コミュニティバスを走らせる会」を組織し、行政とも協働しながらコミュニティバスの導入に向けた検討を行っています。

このたび、地域のニーズを把握するためのアンケートを実施したところ、1,873世帯から回答を得ることができました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

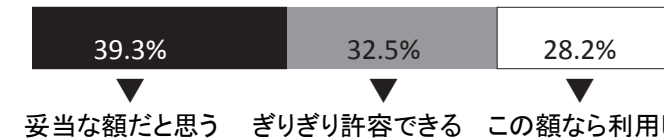
現在、これらの結果をもとに、運行経路、バス停の位置、ダイヤ、運賃等の運行計画を立てるとともに、バス事業者の決定に向けて準備を進めているところです。年内には試験運行に入る予定です。試験運行は来年3月までとなりますが、この間にコミュニティバスを知ってもらい、利用してもらい、その後の本格運行につながるよう、ぜひご協力をよろしくお願い致します。

コミュニティバスが導入されたら、どれくらいの頻度で利用しますか?



66%が利用の意向

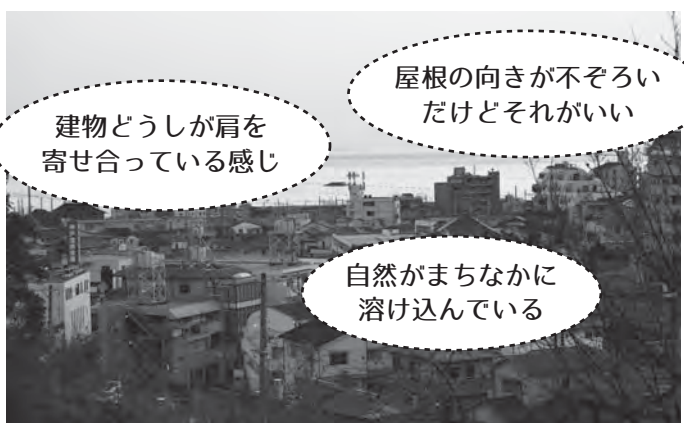
運賃が300円だとしたらどう思いますか?



7割以上が妥当/許容

推進会では毎月1回、商店会の「しおみちゃんの家」にて、気軽な交流の場「まち縁カフェ」を開催しています。9月は塩屋の景観づくりや緑の保全、空地活用などをテーマにおしゃべりします。夕方5時まで「開店」しますので、ふらっとお立ち寄りください。

まち縁カフェ
9/12(土) 14:00～
於・しおみちゃんの家



建物どうしが肩を寄せ合っている感じ

屋根の向きが不ぞろいだけどそれがいい

自然がまちなかに溶け込んでいる